

～会長の時間～

【ロータリーの1年を振り返って】

振り返ってみますと、1年の経つのは早いものです。昨年3月15日の会長エレクトセミナーへの参加を皮切りに、続く4月20日の地区研修協議会、さらに5月9日・5月16日の合同委員会を経て、本年度の会長所信ならびに運営方針などを会員の皆様と共有させていただいたことが昨日のように感じられます。

「伝統と革新、そして輝く未来へ」というテーマのもと、創立40周年を迎える今、先人が築いてきた伝統と歴史を守りながらも、世代を乗り越えて価値観を共有し、時代に応じた革新を進めていくことを目指してまいりました。具体的には、1) 委員会組織を見直しながらロータリー理念・方針の浸透を図ること、2) 魅力あるクラブづくりを通して会員の拡大と維持を図ること、3) クラブ内のコミュニケーションを強化することで効果的なクラブ運営を進めること、4) 奉仕活動の対外的広報や効果的なツールを活用して公共イメージと認知度を向上させること、5) ロータリー財団と米山奨学会の活動を支援すること等に積極的に取り組んでまいりました。しかしながら、会長の力不足で、会員各位には随分とご迷惑をお掛けしたのでないかと反省もしている所です。

次年度、当クラブは次の10年に向けた一步を踏み出します。辻田会長のリーダーシップのもと三国クラブがさらなる発展を遂げるよう心より祈願申し上げます。

最後に、見澤幹事ならびに各委員長の皆様には、運営方針を十分にご理解いただき誠心誠意ロータリー活動に邁進されましたことを、本誌をお借りしまして心より感謝申し上げます。お支えいただき、本当にありがとうございました。

以上

